

愛知県臨床検査技師会 2024 年度基礎講座アンケート

開催日時；2024 年 7 月 27 日（土） 9：00-13：00

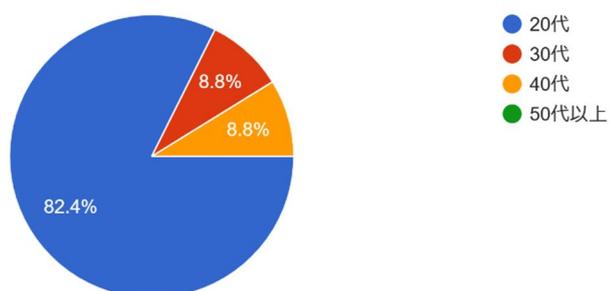
開催形式；現地開催

開催場所；名古屋市立大学基礎研究棟 4 階微生物学教室

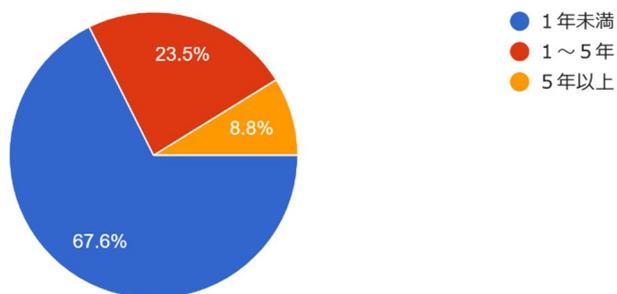
参加人数；36 名

アンケート回収；34 名（回収率 94%）

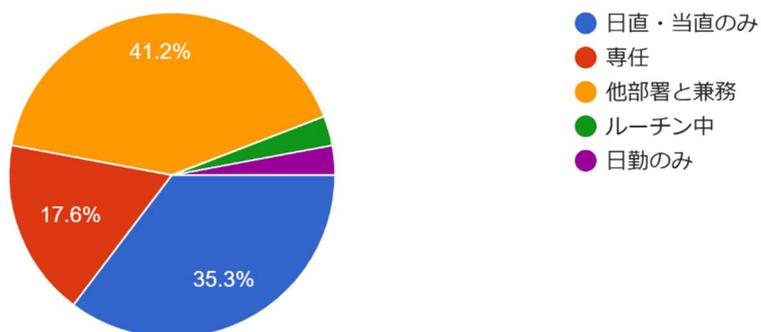
<1> 年代



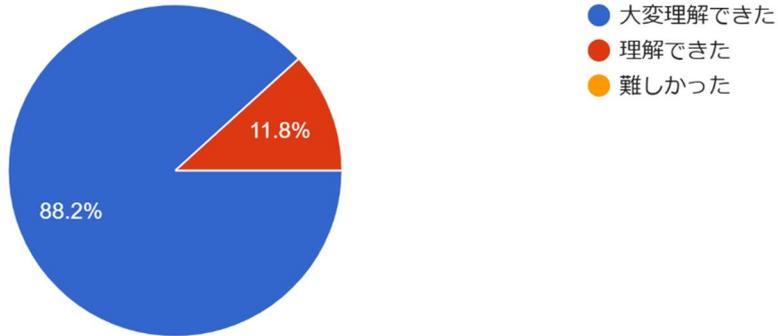
<2> 輸血業務の経験年数



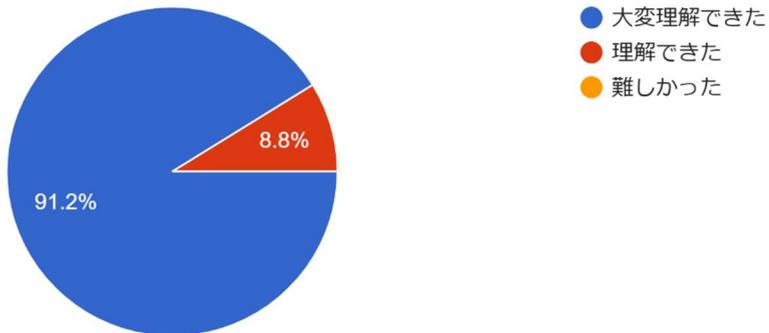
<3> 勤務形態



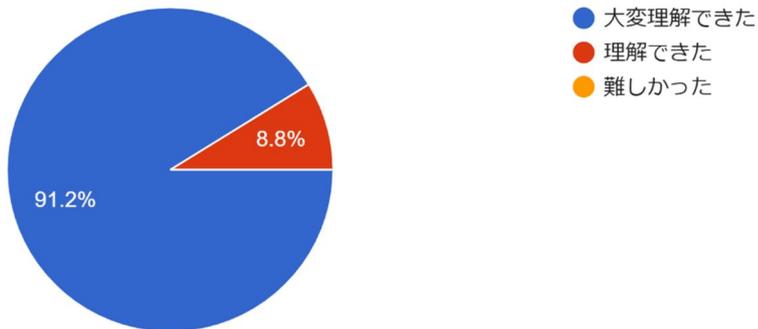
<4> ① スポイト簡易検定について



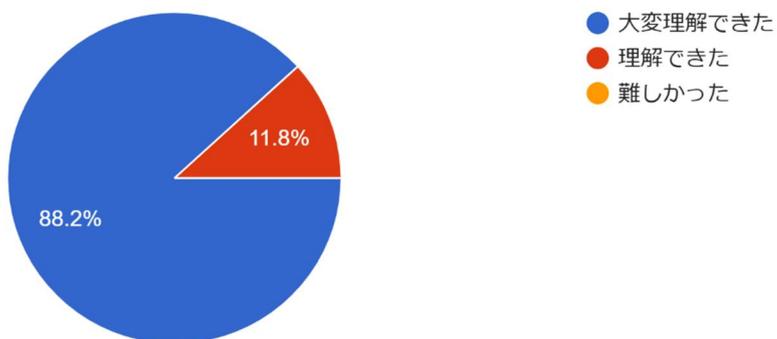
<5> ② 基本操作 凝集判定について



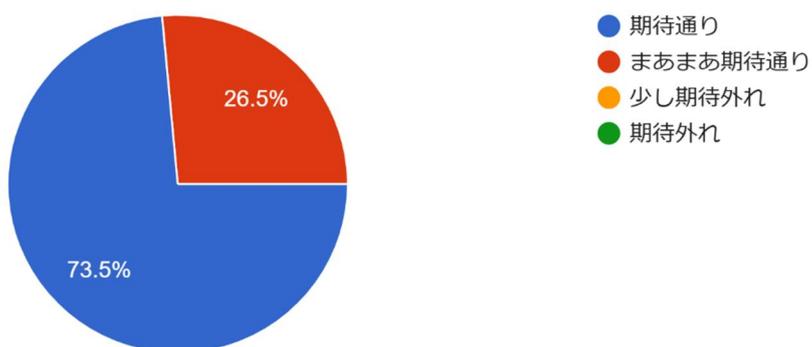
<6> ③ 血液型検査について



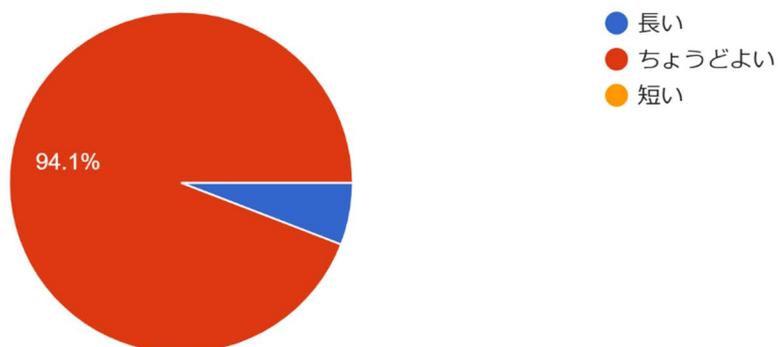
<7> ④交差適合試験について



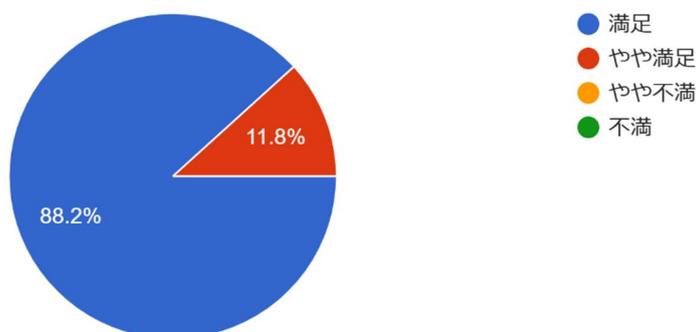
<8> あなたの期待と実習内容は一致しましたか？



<8> 実習時間はどうでしたか？



<10-1> 基礎講座全体を通して満足されましたか？



<10-2> そう思われた理由についてご記載をお願いいたします。

- 講義と実習のバランスが良く、ずっと楽しく参加できました
- 班員の方も含めてつきっきりで非常に分かりやすく説明した頂き分かりやすかった。暖かい雰囲気でもた来たいと思いました。
- とても分かりやすい講義と実践で研修が受けられて良かったです。
- 2人に1人先輩技師の方がついてることで質問しやすい環境だった
- 基礎的なことや手順から丁寧に教えて頂き、理解を深める事ができました。疑問点には丁寧に答えて頂き、解消できました。
- 右も左もわからない状態であったが、本当に沢山の学びがあった
- それぞれの操作の意義や理由を確認しながら取り組めたため、より深く理解できた。実務委員の方が大勢いらっしゃったので、質問もしやすかった。
- わかりやすく、日々の業務の確認にもなりました。今後も基礎を大事にしていきたいと思いました。
- グループごとに実行委員の方がついて下さり、実技に不安のあった中、すぐに聞けるといいう環境がとても良かったです。また、手技までしっかりと見ていただけて、その都度アドバイス等もしていただけたという点が大変良かったと感じました。自分の自信や今後の検査の進め方を見直すいい機会にもなったと思います。
- 実務委員の方がずっと着いてくださってため、無駄な時間がなく勉強になったため
- 2人に対し1人の指導員が付いてくださったことで自分が気をつけた方が良いところを丁寧に教えていただけたため
- 輸血業務の手技を確認できた。
- 学術的内容だけでなく他施設の話も聞けたから
- 輸血検査のポイントをわかりやすく解説しており、当直業務に行かせると活かせる

と感じたため。

- 判定結果の記載方法が施設で教わったものと異なり戸惑った
- 輸血検査業務にほとんど関わった経験が無いため
- 基礎的なことから丁寧に教えていただいたため
- 受講者 1 人につき輸血班の方が 1 人ついて下さるので、細かい操作までご指摘いただけただけ良かった。
- 技術と知識どちらも学ぶことができたのと、病院によって判断基準が様々であることを知ることができてとても貴重な機会でした。ありがとうございました。
- 参加者 2 人に対して研究班の方が 1 人付いてくださったので気軽に質問しやすかったからです

<その他ご意見>

- 貴重な経験の場を頂き、ありがとうございました。
- スライド法を初めて実施し、勉強になった。部分凝集と通常の反応を比較し、違いがよく分かった。解説や質疑応答も分かりやすく、とても有意義だった。
- 進行をしてくださっていた方の声がマイクを通していても、後ろの席でしっかりと聞き取れてとても良かったです。スライドを含め、大変わかりやすい説明でした。本当に有意義な時間を過ごせました。誠にありがとうございました。

<質問>

- クロスマッチで、自己対照陽性の場合はどうに報告するのが適切でしょうか？
自施設で自己対照を検査しているものの、どのような結果でも特に報告はしていません。
→交差適合試験の自己対照は、赤血球輸血歴がある症例では DHTR を早期発見するために検査したほうが望ましいとされています。自己対照陽性に対して抗体解離試験を行い同種抗体の有無を確認する場合は、その旨と赤血球製剤の準備に通常よりも時間がかかることを臨床に報告するのもよいと思います。休日や夜間などで抗体解離試験の実施が難しい場合、輸血を行うなら DHTR のリスクがある事や、抗体解離試験の実施を待てるのか、輸血までの猶予はどのくらいあるのか、などを状況によって報告・相談する事もよいと思います。